

東北大学大学院情報科学研究科

(1) シンポジウム開催支援経費実績報告書	
タイトル	日本バーチャルリアリティ学会第11回大会 特別セッション ● 特別講演「＜境界知＞とVR」瀬名秀明(作家, 本学機械系特任教授) ● 特別イベント「音の空間を創る: バーチャルリアリティコンサート」
主催者	大会長 鈴木陽一(システム情報科学専攻・音情報科学講座(電気通信研究所)教授) 幹事 吉澤誠(情報シナジーセンター教授) 特別講演企画 田所諭(応用情報科学専攻・人間-ロボット学講座教授), 昆陽雅司(同助手) 特別イベントプロデュース 大内誠(東北福祉大学助教授), 高橋顕吾(ヤマハ(株))
期 日	2006年9月9日
会 場	仙台市青年文化センター
出席者数 (講師・パネリスト等を除く)	特別講演 192名, 特別イベント 348名
講師・パネリスト等の氏名・勤務先等	● 特別講演 > 講師 瀬名秀明(作家, 本学機械系特任教授) ● 特別イベント > 講師 原島博(東京大学大学院教授) 「VRってなあに? — それは仮想か現実か —」
目 的	本特別講演・特別イベントは, バーチャルリアリティ(VR)技術に関する講演, 成果発表, 意見交換等を通じて, 情報科学を中心とした学術文化の学際的な展開と新たな研究領域の開拓に寄与することを目的としている。(なお, 本特別講演・特別イベントは, 日本バーチャルリアリティ学会第11回大会の特別セッションとして企画されたものでもある。)
内 容	特別講演では, 講師の瀬名秀明先生より, 従来否定的に捉えられ勝ちであった「違和感」を, <境界知>という人間の知の一つとして積極的に評価するという新たな視点について御講演頂いた。また, 特別イベントでは, まず, VRについての入門的な解説を, 講師である原島博先生に行って頂き, 続いて, 国内外のコンサートホールや大聖堂を模したバーチャルな音場空間を創成し, その中での生演奏を実際に参加者に体験してもらうバーチャルリアリティコンサートを行った。なお, 本特別講演・特別イベントは, 本研究科との共催で行われ, 市民に対しても広く一般公開された。
情報科学研究科 にとっての意義・貢献度	本特別講演・特別イベントには, 本研究科の構成員のみならず, 学内外からも多数の研究者に御参加頂き, 活発な意見交換等が行われたため, 情報科学を中心とした学術文化の学際的な展開と新たな研究領域の開拓という当初の目的に大きく貢献できたものと考え。また, 本特別講演・特別イベントは, 一般公開され多数の市民の参加を得たため, 本研究科のアクティビティを示し得た点でも, 非常に意義が高かったものと考え。

注 (1) 「シンポジウム開催支援経費」「学際的研究プロジェクト支援経費」のどちらかを削除してください。

(2) 当学術企画実施の代表者もしくは責任者及び協力者名を全員記載してください。

(3) 当学術企画を実施した目的を簡潔に記載してください。

(4) 実施された当学術企画の内容を簡潔に記載してください。

(5) 大学院情報科学研究科に対する当学術企画の意義や貢献度を簡潔に記載してください。